

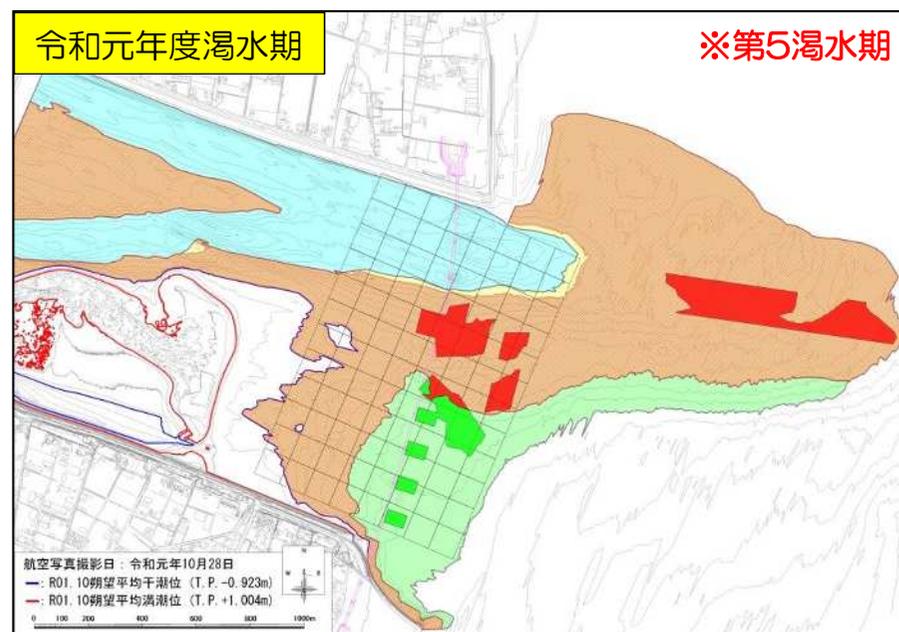
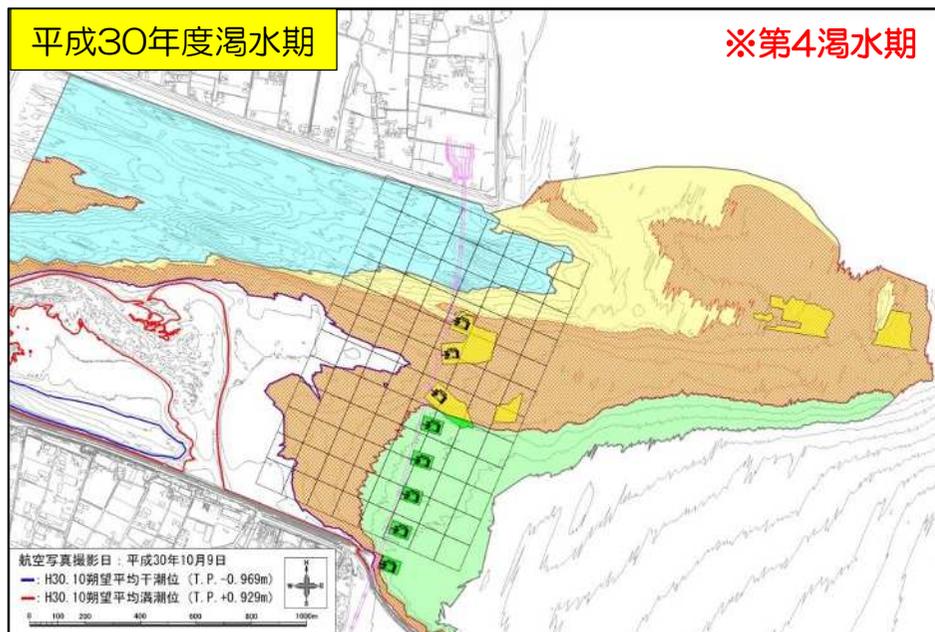
# ■ 浚渫の影響評価 ～区分1の指標種における影響値の比較～



第11回検討会時に公表した浚渫の影響評価の値と比較すると、区分1の指標種において影響値は上がっていることが確認された。**※過去最大の影響値となった。**

## ■ 例：フジノハナガイの生息可能範囲（第11回検討会）

## ■ 例：フジノハナガイの生息可能範囲（第12回検討会）



項目	フジノハナガイ	バカガイ	ヒサシソコエビ科
	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
生息可能場面積	1,241,876	1,470,973	1,563,192
浚渫面積	76,341	77,341	79,658
浚渫の影響評価	6.1%	5.3%	5.1%

項目	フジノハナガイ	バカガイ	ヒサシソコエビ科
	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
生息可能場面積	1,806,053	1,633,106	1,707,980
浚渫面積	153,259	153,259	153,259
浚渫の影響評価	8.5%	9.4%	9.0%

影響値が増加